

Dec.2025

刊行日 2025/12/ 03



生み出すチカラ、
デザインしよう。
想像、創造、
クリエイティブに。

creator's

Winter

NEWS 65 vol.



🌸 学んでみよう、和歌山の仏像！ 🌸

イチヨウが色づき冬の訪れを感じる11月24日、和歌山県立博物館の学芸員を招き、出張まなび講座の第3弾として「仏像の歴史と和歌山の仏像」を学びました。博物館が発行している『仏像のプロファイル わかやまうまれ、わかやまそだち』を基に丁寧なわかりやすく説明してくれました。

まずはそもそも仏様はお釈迦様とは？から始まり、古代の彫刻などで描かれている仏様は人型ではなく、木などシンボルとして表現していたのが年月と共に人型となり、後に仏像になっていったことや仏教世界の話では、仏像にはそれぞれ位と役割があることなどを解説してくれました。仏像にも色んな名前があり、毘沙門天や阿彌陀如来などの名前が挙がると「知ってる！でも何の仏様だろう？」など皆それぞれ知っているものの、由来や詳細は知らないことが殆どで、改めて知識を深めていく事ができて楽しかったです。

他にも仏教がインドから中国、後に日本へ伝来した経緯や聖地巡礼の為にインドや中国に渡航した玄奘三蔵・弘法大師の話、神社仏閣の話では仏教と神道はどの様に交わり、分かれてきたのか等の話も聞き、最終的にはお釈迦様に会いに行ったり聖地巡礼をしたり今の「推し活」のようだとみんなで盛り上がりました。

ワークショップで
スケッチした仏像。



県立博物館の学芸員さんが3体の仏像のレプリカを手に解説してくれました。



真剣に講座を受けている。



助手席でシートベルトをする仏像のレプリカ。

最後は持参して頂いた釈迦如来坐像、薬師如来坐像、阿彌陀如来坐像3体のレプリカから各自が好きな仏像を選び、仏像をスケッチし、学んだ内容を踏まえて自分なりに仏像のプロファイルを作るというワークショップを行いました。胡座で座した高さ約60センチのレプリカ仏像は椅子に置くと背もたれ位の大きさで、全て海南市・紀の川市杉原(粉河)・桃山町と和歌山県内で祀られている仏像のレプリカで、じっくりと観察すると表情が少しずつ異なっていたり、装飾や手に持っている物にもそれぞれ意味があるなど身近に感じつつも新たな発見があり、新鮮な気持ちで真剣にスケッチしました。みんなが描いた仏像は当時の色合いをイメージした鮮やかな金色だったり、少しユニークに描かれていたりそれぞれ個性が出ていて面白かったです。

今回のまなび講座は内容はもちろん学芸員の方の説明も分かりやすく楽しい講座だったので、もし機会があれば同じ学芸員の方の講座をまた受けたいと思いました。